

# 日本史探究

**第1問** 次の史料を素材に語り合う学生A・Bの会話を読み、設問に答えよ。

保元々年七月二日、鳥羽院ウ（失）セサセ給ヒテ後、日本国ノ乱逆ト云コト（事）ハヲ（起）コリテ後、ムサ（武者）ノ世ニナリニケル也ケリ。（中略）城外ノ乱逆・合戦ハヲホ（多）カリ。（中略）天慶ニ朱雀院ノ（平）将門ガ合戦モ、（源）頼義ガ（安倍）貞任ヲセ（攻）ムル十二年ノタタカイ（戦）ナドイフモ、（中略）関東（中略）ニコソキ（聞）コユレ。マサシク王臣都ノ内ニテカカル乱ハ鳥羽院ノ御時迄ハナシ。

学生A：この史料は『愚管抄』の有名な一節だね。著者の（①）は保元の乱に「ムサ（武者）ノ世」の始まりをみたわけだ。

学生B：（①）が「王臣都ノ内ニテカカル乱ハ鳥羽院ノ御時迄ハナシ」と述べているように、都のなかでの大規模な合戦は保元の乱が初めてだった。しかし、（①）は「鳥羽院ノ御時迄」、つまり保元の乱以前は「城外ノ乱逆・合戦ハヲホ（多）カリ」とあるように、都の外での合戦は少なくなかった。

学生A：最初に出てくるのは「朱雀院ノ（平）将門ガ合戦」、939（天慶2）年にはじまる平将門の乱だ。保元の乱の200年以上も前の出来事だけれど、この反乱を起こしたのも鎮圧したのも武士であり、武士の力を都の貴族に認識させるきっかけになった。乱を鎮圧した平貞盛や（②）の子孫たちは関東地方に広く展開し武士団を形成していく。

学生B：ところで、「朱雀院ノ（平）将門ガ合戦」とあるように、平将門の乱は朱雀天皇の時代に起こった。朱雀天皇の前の天皇は父親の醍醐天皇、次の天皇は弟の村上天皇だ。醍醐天皇と村上天皇の治世（親政）は後世（③）と呼ばれて<sup>たた</sup>称えられる。しかし、朱雀天皇は、平将門の乱だけではなく、（④）が瀬戸内海<sup>た</sup>の海賊を率いて起こした反乱にも悩まされたわけだ。

学生A：次に出てくるのは、「(源) 頼義ガ (安倍) 貞任ヲセ (攻) ムル十二年ノ  
タタカイ (戦)」だ。12年にわたる戦いとは、前九年合戦と後三年合戦  
のことだね。源頼義が出羽の豪族 ( ⑤ ) の支援を得て陸奥の安倍氏  
を攻めたのが前九年合戦。後三年合戦は前九年合戦を父頼義とともに  
戦った源義家が陸奥・出羽地域に勢力を拡大した ( ⑤ ) の内紛に介  
入して制圧した合戦だ。

学生B： ( ① ) は、保元の乱に「ムサ (武者) ノ世」の始まりをみたけれ  
ども、保元の乱では後三年合戦で活躍した源義家の血を引く源為義が  
( ⑥ ) ・藤原頼長の軍に加わり、為義の子 ( ⑦ ) が平将門の乱  
を鎮圧した平貞盛の血を引く ( ⑧ ) とともに ( ⑨ ) ・藤原忠通  
の軍に加わる。

こうしてみると、かつて地方の反乱を鎮圧した武士たちの子孫が、都で  
戦うことになったのが保元の乱ということになる。

学生A：たしかに。保元の乱の3年後に起こる平治の乱では ( ⑦ ) と  
( ⑧ ) が争い、敗北した ( ⑦ ) の子 ( ⑩ ) が流刑地の伊豆  
で挙兵するのは平治の乱から約20年後のことになる。

### 【設問】

問1 ( ① ) に入る人名を次から選び、記号で答えよ。

あ、慈円            い、兼好法師        う、鴨長明        え、重源

問2 ( ② ) に入る人名を次から選び、記号で答えよ。

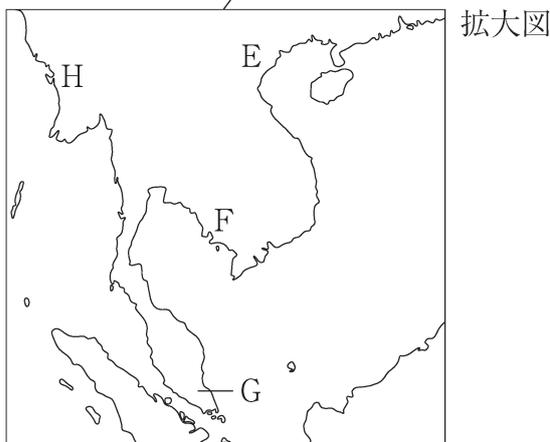
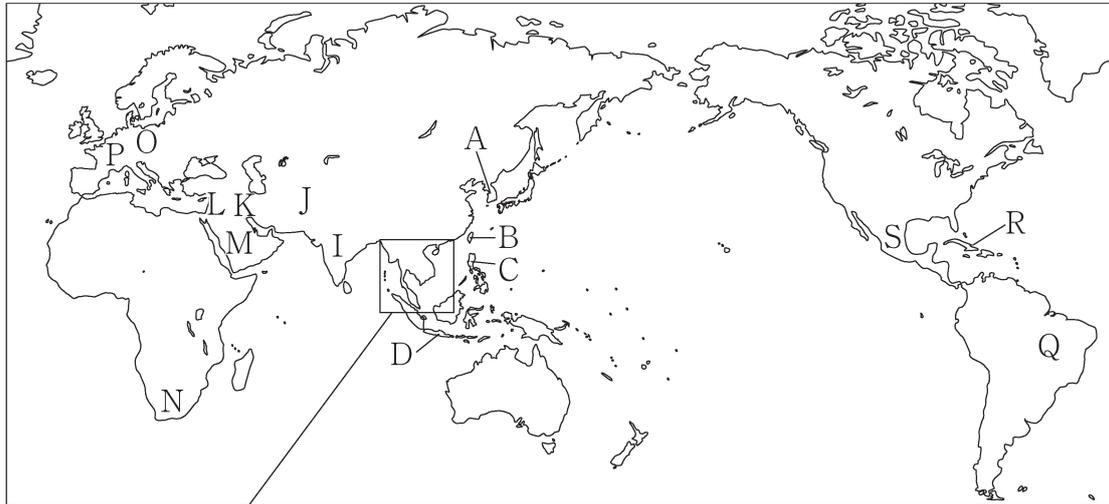
あ、藤原秀郷        い、平忠常            う、大庭景親        え、源義親

問3 ( ③ ) に入る歴史用語を次から選び、記号で答えよ。

あ、正徳の政治        い、延喜・天暦の治  
う、開元の治            え、弘仁・貞観の治

- 問4 ( ④ ) に入る人名を次から選び、記号で答えよ。  
あ、村上武吉      い、藤原広嗣      う、藤原純友      え、源経基
- 問5 ( ⑤ ) に入る氏族名を次から選び、記号で答えよ。  
あ、清原氏      い、藤原氏      う、坂上氏      え 大江氏
- 問6 ( ⑥ ) に入る人名を次から選び、記号で答えよ。  
あ、崇徳上皇      い、近衛天皇      う、後白河天皇      え、高倉上皇
- 問7 ( ⑦ ) に入る人名を次から選び、記号で答えよ。  
あ、源頼信      い、源頼光      う、源義朝      え、源為朝
- 問8 ( ⑧ ) に入る人名を次から選び、記号で答えよ。  
あ、平清盛      い、平頼綱      う、平忠盛      え、平忠正
- 問9 ( ⑨ ) に入る人名を次から選び、記号で答えよ。  
あ、崇徳上皇      い、近衛天皇      う、後白河天皇      え、高倉上皇
- 問10 ( ⑩ ) に入る人名を次から選び、記号で答えよ。  
あ、源義経      い、源頼朝      う、源頼政      え、源義仲

**第2問** 日本史といえど、たえず世界史とともに歴史の動きを考えなければならない。次の(1)～(5)は、日本とも関わる国や都市に関する記述である。それぞれどこを指すのか、(1)～(4)は現在の国名を、(5)は都市名を答えよ（国名は、正式名称でも略称でもかまわない）。また、その該当する場所を、地図中の記号で答えよ。



(1) 19世紀に、二度にわたってイギリスから侵略された結果、イギリスの保護国となるが、1919年に再度イギリスと戦い、独立を勝ち取った。1979年にはソ連が侵攻し、ソ連に支えられた現地政府と反政府ゲリラとの間で、10年近く内戦が続いた。2001年、アメリカでの同時多発テロを引き起こした組織の拠点と目されて、米英などから攻撃をうける。日本の自衛隊も補給艦を派遣して、米軍をはじめとする各国艦船の軍事活動を支えた。米軍は2001年以来、ここに駐留したが、2021年8月、撤退した。

国名（ ① ） 場所（ ② ）

(2) 「安南」「大越」「交趾<sup>コーチ</sup>」とも称され、17～18世紀には通商のため長崎へも来航している。1880年代にフランスの植民地となり、第二次世界大戦中には日本が占領するも、日本の敗戦直後に独立宣言を出す。だが、旧宗主国のフランスがそれを認めず、1954年までフランスと独立戦争を戦った。フランス撃退後、今度はアメリカが軍事介入するようになり、沖縄の米軍基地からも爆撃機が飛び立って、雨あられのごとく爆弾を落としていった。この戦争で、200万人もの民間人が亡くなったとも言われている。2023年10月末現在、日本で働く外国人労働者の25%を占め、国籍別では最大の人数となっている。

国名 ( ③ )      場所 ( ④ )

(3) 戦国大名の大友氏は、16世紀後半にこの国の王と直接、文書をやりとりし、17世紀前半には、朱印船の渡航地の一つとなっていた。1640～1740年代にも、たびたび長崎に来航し、日本と交易をおこなっている。19世紀後半にはフランスの植民地となり、1953年に独立を果たすが、1970年以降、20年以上にわたって内戦が続き、1975～79年には、最低でも150万人以上もの人びとが亡くなったと言われている。1992年に成立したP K O協力法により、日本の自衛隊もここに派遣されている。

国名 ( ⑤ )      場所 ( ⑥ )

(4) 16世紀以降、スペインの植民地となり、1613年に日本を出発した慶長遣欧使節も、途中でここに立ち寄ったとされる。1898年の米西戦争後、一応独立を果たすも、アメリカの保護国となり、1903年にはアメリカが国内の一角を借りて基地を設けた。1959年の革命後、アメリカとは敵対関係になるが、その基地は今なお存在し、2024年3月末時点で616名の米兵が駐留している。1962年には、ソ連によるミサイル基地建設が発覚し、米ソ核戦争勃発の一步手前まで来た。

国名 ( ⑦ )      場所 ( ⑧ )

(5) この都市は、16世紀以降、オスマン帝国の支配下にあったが、第一次世界大戦後はイギリスの委任統治領となった。1948年の第1次中東戦争以後、市域が東西に分割され、1967年の第3次中東戦争では、戦争当事者の片方が市域東部を占領する。日本を含む国際社会は、この占領行為を国際法違反とみなし、いまに至るも多くの国家はこの都市に自国の大使館をおこうとしない。ところが2018年5月、アメリカのトランプ大統領はここにアメリカ大使館を移転させ、抗議デモに対する鎮圧行為で2,000人以上が負傷し、50人以上が死亡した。

都市名 ( ⑨ )      場所 ( ⑩ )

**第3問** 次の(1)~(4)の文章を読み、空欄ア~コに入る適切な語句を下の語群から選び、記号で答えよ。

- (1) 18世紀末の日本列島では、1782年の冷害と翌年の（ア）の大噴火が重なり、数年におよぶ大飢饉がおこった。いわゆる、（イ）の飢饉である。とくに、東北の諸藩における被害は深刻で、多数の餓死者が出る惨状となった。また、列島各地では百姓一揆、江戸や大坂では打ちこわしが発生している。このような情勢下の1784年、老中として権勢をふるった（ウ）の子で若年寄だった意知が、江戸城内で刺し殺されてしまう。意知を刺殺した人物は、庶民から「世直し大明神」ともてはやされたという。この事件後、幕府内で権勢をふるった（ウ）の勢力はおとろえていった。
- (2) （イ）の飢饉のあと、しばらく、日本列島は天候にめぐまれていた。ところが、1832年から翌年にかけての凶作で米不足が広がり、またしても飢饉がおこった。いわゆる、（エ）の飢饉である。大坂では1837年に、町奉行所の元与力で（オ）者でもあった大塩平八郎が、困窮する人びとを救済しようと、門弟や庶民を集めて蜂起したが、1日と続かずに鎮圧されてしまう。とはいえ、幕府直轄の地で、元役人が立ちあがった衝撃は大きく、その影響は遠方にもおよぶ。たとえば、越後の柏崎では、国学者の（カ）が大塩の門弟と称して、陣屋を襲撃する乱がおこった。
- (3) 幕府は1858年6月、朝廷の許しを得られないまま、日米修好通商条約の調印にふみきる。この条約により、江戸・大坂の開市、箱館・神奈川（のちに実際には横浜に）・兵庫（のちに実際には神戸に）・新潟・（キ）の開港などが決まった。開港後の貿易では、輸出が輸入を上回ったことが、物価を押し上げる方向にはたらくとともに、国内の産業に大きな影響をもたらしていく。輸出品の中心であった（ク）の生産は増えた一方、機械生産の安い綿織物の輸入が農村では在来の手紡<sup>てつむぎ</sup>や綿織物業を圧迫していくなか、暮らしに困っていく人びとが少なくなかった。

(4) 明治になってからの近代化により、1890年代には、資本主義経済が確立され、多くの企業が生まれていた。その後、第一次世界大戦のころ、「大戦景気」といわれる空前の輸出拡大と好景気にわく。このころはまだ、( ク ) が日本の主要輸出品目の1つであった。他方で、大戦景気は物価高騰をもたらし、日々の暮らしに苦しむ人びとも多かった。政府がシベリアへの出兵を決めると、米の需要増と値上がりを見こんだ買い占めが増え、米価はさらに上昇する。( ケ ) 年7月、こうした状況への不満があらわになる。( コ ) 県の漁村の女性が立ちあがったことをきっかけに、全国各地に広がった米騒動である。

**【語群】**

あ、1918	い、調所広郷	う、享保	え、陽明学
お、菜種	か、井伊直弼	き、広島	く、1928
け、生糸	こ、水戸学	さ、本草学	し、浅間山
す、生田万	せ、岩手	そ、長崎	た、天保
ち、阿部正弘	つ、蘭学	て、富士山	と、1938
な、阿蘇山	に、1908	ぬ、富山	ね、天明
の、二宮尊徳	は、田沼意次	ひ、下関	ふ、本居宣長
へ、鋼材	ほ、御嶽山		

## 第4問 次の文章を読み、設問に答えよ。

鎌倉時代、武家社会の上層に広まった臨済宗は、僧（ア）が將軍足利尊氏  
のあつい帰依をうけ、室町幕府の保護のもとで大いに栄えた。將軍足利義満は、  
南宋の官寺の制にならった五山・（イ）の制も完成した。五山僧たちには中  
国からの渡来僧や中国帰りの留学僧が多く、彼らは水墨画・建築様式なども広く  
伝えた。とくに五山僧たちのあいだで、宋学の研究や漢詩文の創作がさかんになり、  
義満の頃に僧（ウ）中津と（エ）周信らが出て、最盛期を迎えた。

現在、伝統芸術としてさかんに演じられている能もまた、室町時代を代表する  
ものであった。古く神事芸能として出発した（オ）や田楽は、いろいろな  
芸能を含んでいたが、その中からしだいに歌舞・演劇の形をとる能が発達して  
いった。このころ寺社の保護をうけて座を結成し、能を演ずる専門集団が現れ、  
能は各地でさかんに興行されるようになった。なかでも大和（オ）四座の  
（カ）座から出た世阿弥は、將軍義満の保護を受け、洗練された芸の美を追  
求して、芸術性の高い（オ）能を完成した。世阿弥は、能の脚本である謡曲  
を数多く書くとともに、能の真髓をのべた（キ）（花伝書）などの理論書も  
残した。

### 【設問】

- 問1 空欄ア～キに入る適切な語句を答えよ。  
問2 五山の上におかれた寺院名を答えよ。  
問3 水墨画「瓢鮎図」を描いた画僧の名を答えよ。  
問4 世阿弥の父の名を答えよ。

このページは空白です。